

## 総合講座「故郷探検」 薬種商の館 金岡邸で富山の薬を学ぶ

令和6年9月25日（水）

総合講座「故郷探検」は、富山県の地理・歴史・観光・産業などについて、生徒が県内の施設を実際に訪問して、学びを深めています。

9月25日（水）午後、生徒28名（1～3年）と教員3名は薬種商の館 金岡邸を訪問しました。

邸内には貴重な生薬や薬製造の道具類、売薬に関するさまざまな展示があり、生徒たちは展示物を興味深く見学していました。

見学の最後に、生薬を粉にする薬研（やげん）を全員で体験しました。ハッカ、ウイキョウ、トウヒ、チョウジの4種類の生薬を、手で押し回しながらすりつぶしていきました。意外と力がある作業でしたが、よい香りが室内に漂いはじめ、生徒は楽しそうにすりつぶしていました。昔の人のように薬を作る体験ができて、有意義な機会となりました。

### 【生徒の感想】

- ・百味筆筒（ひゃくみだんす）という、薬草がたくさん入ったたんすがあって、年季が入っていてすごかった。
- ・「薬屋のひとりごと」や「千と千尋の神隠し」の世界に入ったみたいでおもしろかった。
- ・生薬の作り方を学べておもしろかったです。
- ・富山の歴史が感じられ、積み上げられた薬の重みに尊敬の念を抱いた。



明治初期の薬種商店舗（生徒全員で記念撮影）



↑ 薬研（やげん）に挑戦



貴重な生薬が展示されています→